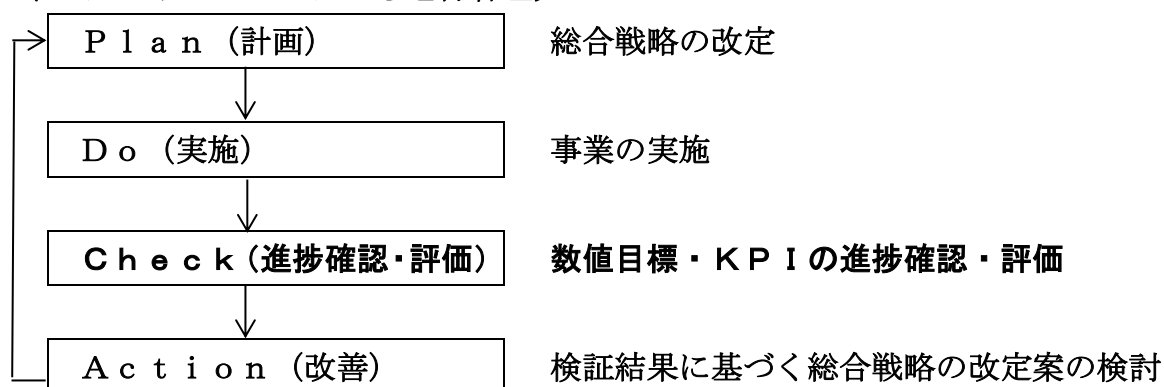


第2期「水の都おおがき」創生総合戦略の中間評価（案）について

1 趣 旨

第2期「水の都おおがき」創生総合戦略（計画期間：令和2～6年度）に示した数値目標・KPI（重要業績評価指標）の令和4年度時点における実績値を把握し、中間評価（案）としてとりまとめたので報告するとともに、本市の地方創生の取り組みの効果的な推進に向け、PDCAを活用したマネジメントシステムに基づき、継続的な見直しや改善に取り組むため、意見を求めるもの。

[マネジメントシステムによる進行管理]



2 中間実績

(1) 基本目標ごとの事業数及び事業費

(上段：事業数、下段：事業費（単位：百万円）)

基本目標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	3ヵ年計
1 楽しく子育てができるまちづくり	132	125	132	389
	10,903	12,519	10,122	33,544
2 元気があるまちづくり	59	63	63	185
	3,186	2,885	2,922	8,993
3 安心できるまちづくり	93	86	84	263
	57,082	58,163	57,771	173,016
4 広域連携による魅力あるまちづくり	16	15	18	49
	20,334	22,973	25,973	69,280
合 計	300	289	297	886
	91,505	96,540	96,788	284,833

※ 令和4年度の事業費は見込額。

(2) 基本目標ごとの主な取り組み

(1)の表のとおり、3ヵ年で886の事業を実施しましたが、基本目標ごとの主な取り組みは以下のとおりです。

① 基本目標1 楽しく子育てができるまちづくり

1) 公立保育園等ICT導入事業

保護者の利便性向上と保育業務の効率化を図るため、園児の登降園時間のデジタル管理やスマートフォンを活用した出欠連絡などが可能となる保育業務支援システムを導入しました。



システムを活用した登降園確認の様子

2) 情報工房デジタルひろば整備事業

情報工房交流サロンを、子どもをはじめとした全ての人がデジタルに様々な形で気軽に触れ楽しめる「デジタルひろば」として整備するため、設計等を実施しました。



「デジタルひろば」イメージ図

② 基本目標2 元気があるまちづくり

1) まちなかテラス推進事業

コロナ禍における「3密（密集、密接、密閉）」の回避や「新しい生活様式」を取り入れた感染予防、中心市街地の活性化を図るため、大垣駅周辺の路上利用のほか、広場等のパブリックスペースにおける飲食提供のためのテラス席の設置や物品販売等の取り組みを支援しました。



テラス席の設置

2) 移住定住動画プロモーション事業

20代から40代の子育て世代や10代から20代の若者に対して、本市を訪れることなく、本市での日常の暮らしをイメージすることができる大垣市移住定住プロモーション動画を製作しました。



ドーム球場での動画放映の様子

③ 基本目標3 安心できるまちづくり

1) 防災施策等デジタル化推進事業

デジタル技術を活用した防災施策の導入にあたり、民間企業から提案募集を行い、公民連携型の実証実験を重ね、避難所受付支援システム、防災備蓄管理システム、デジタル防災訓練システムの導入を推進しました。



避難所受付支援システム

2) 地域公共交通デジタル化推進事業

「新しい生活様式」を取り入れた地域公共交通の利用環境の構築を図るため、交通事業者が実施する、非接触型キャッシュレス決済（交通系 I Cカード）やバスロケーションシステムの導入を支援しました。



交通系 I Cカードでバス料金を支払う様子

④ 基本目標 4 広域連携による魅力あるまちづくり

1) 大垣地域経済戦略推進事業

西美濃地域の市町と連携し、大垣ビジネスサポートセンターを拠点として、起業・創業希望者やベンチャー企業を発掘し、起業・創業後の経営サポートを行うとともに、資金調達や人材育成に関するセミナー等を開催し、企業経営に役立つ情報発信等を実施しました。



大垣ビジネスサポートセンターでの相談の様子

2) 環境SDGs おおがき推進事業

環境SDGsの単なる周知・啓発に留まらず、全世代へ環境SDGsの輪を広めるとともに、市民等の自発的な取り組みを促すため、SDGsを共に学び・考え・行動するための効果的なイベント等を市民・市内事業者と協働で実施しました。



環境SDGs おおがき未来創造フェスティバル

3 中間評価

(1) 評価の方法

数値目標・K P I の最終年度の目標値に対する令和4年度の実績値の割合を目標達成率として把握し、評価する。

区 分	内 容
対 象	a) 基本目標（4基本目標）における数値目標 b) 基本施策（10基本施策）におけるK P I
方 法	数値目標・K P I の最終年度の目標値※に対する令和4年度の実績値の割合を目標達成率として把握し、評価を実施。 ※ 5ヵ年の累計値を目標値に設定している指標については、3年経過時点での中間評価であることを鑑み、目標達成に必要な単年度の実績値に3を乗じた値とする。
評価基準	A：目標達成 B：目標達成率80%以上 C：目標達成率70%以上 D：目標達成率60%以上 E：目標達成率60%未満

(2) 評価の結果概要

基本目標については、7の数値目標のうち、A評価が1、B評価が4となり、B評価以上が全体の約71%を占めている。また、基本施策については、12のK P Iのうち、A評価が1、B評価が7となり、B評価以上が全体の約67%を占めている。一部、新型コロナウイルス感染症などの影響によるD～E評価があったものの、おおむね順調に取り組みが進んでいる。

基本目標	基本目標の評価（数値目標）					基本施策の評価（K P I）						
	評価対象	A	B	C	D	E	評価対象	A	B	C	D	E
1 楽しく子育てができるまちづくり	2	-	2	-	-	-	2	-	2	-	-	-
2 元気があるまちづくり	2	-	1	-	-	1	3	1	1	-	-	1
3 安心できるまちづくり	1	-	1	-	-	-	5	-	3	-	-	2
4 広域連携による魅力あるまちづくり	2	1	-	-	-	1	2	-	1	-	1	-
合 計	7	1	4	-	-	2	12	1	7	-	1	3

(3) 評価の詳細

基本目標 1 楽しく子育てができるまちづくり

数値目標	基準値	目標値	実績値	評価
合計特殊出生率 ^{※1}	1.47 (H29)	1.70 (R6)	1.38 (R4)	B
子育て支援の取り組みに対する市民満足度 (%) ^{※2}	87.8 (R1)	90.0 (R6)	86.5 (R4)	B

※1 合計特殊出生率については、出生数と合計特殊出生率の過去の実績値の相関性より算出した推計値を実績値とする。(別添資料No.2-1参照)

※2 令和5年4月から5月にかけて実施した市民アンケート調査の結果を実績値とする。

基本施策 1 妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援

K P I	基準値	目標値	実績値	評価
出生数 (人) (5ヵ年の累計)	6,636 (H26~H30累計)	6,800* (R2~R6累計)	3,408 (R2~R4累計)	B

※ 目標達成に必要な単年度の実績値は「1,360」なので、「4,080」に対して評価を実施。

基本施策 2 未来を担う子どもを育てる環境づくり

K P I	基準値	目標値	実績値	評価
将来の夢や目標を持っている子どもの割合 (%)	80.2 (H30)	81.0 (R6)	73.1 (R4)	B

基本目標2 元気があるまちづくり

数値目標	基準値	目標値	実績値	評価
社会増減（人）（5カ年の累計）※ ¹	142 (H26~H30累計)	1,500 (R2~R6累計)	▲29 (R2~R4累計)	E
製造業従業者数（人）※ ²	16,380 (H29)	16,500 (R5)	16,399 (R4)	B

※¹ 目標達成に必要な単年度の実績値は「300」なので、「900」に対して評価を実施。

※² 国の工業統計調査及び経済センサスの結果を実績値としていたが、令和2年をもって工業統計調査が廃止され、令和4年から製造業事業所調査（経済構造実態調査の一部）として実施されるようになった。

工業統計調査と製造業事業所調査は集計範囲が以下のとおり異なっており、基準値設定時と同条件での測定が不可能となったため、令和4年度の実績値は、令和3年度の実績値（令和3年経済センサス活動調査）を据え置く。

工業統計調査・・・国に属する事業所以外の従業者4人以上の全ての事業所を集計
製造業事業所調査・・・個人経営を除く全ての事業所を集計

基本施策1 地域の資源を生かした活力づくりの推進

K P I	基準値	目標値	実績値	評価
製造業事業所数（事業所）※	372 (H29)	380 (R5)	336 (R4)	B

※ 数値目標「製造業従業者数」と同様に、令和4年度の実績値は、令和3年度の実績値（令和3年経済センサス活動調査）を据え置く。

基本施策2 住んでみたくなるまちの創生

K P I	基準値	目標値	実績値	評価
定住促進支援制度利用件数（件）（5カ年の累計）※	417 (H30)	2,100 (R2~R6累計)	1,274 (R2~R4累計)	A

※ 目標達成に必要な単年度の実績値は「420」なので、「1,260」に対して評価を実施。

基本施策3 地域の魅力を生かしたにぎわいの創出

K P I	基準値	目標値	実績値	評価
観光客数（万人）※	273 (H29)	300 (R6)	104 (R4)	E

※ 岐阜県観光入込客統計調査の令和4年分の結果がまだ公表されていないため、本市から県への岐阜県観光入込客統計調査に係る報告数値を実績値とする。

基本目標3 安心できるまちづくり

数値目標	基準値	目標値	実績値	評価
大垣市に住み続けたいと思う市民の割合 (%) ※	86.5 (R1)	90.0 (R6)	87.0 (R4)	B

※ 令和5年4月から5月にかけて実施した市民アンケート調査の結果を実績値とする。

基本施策1 快適・便利なくらしの実現

K P I	基準値	目標値	実績値	評価
自主運行バスの実車走行キロあたりの輸送人員 (人)	0.93 (H30)	0.97 (R6)	0.83 (R4)	B

基本施策2 安全なくらしの確保

K P I	基準値	目標値	実績値	評価
自主防災組織防災訓練実施件数 (件)	113 (H30)	130 (R6)	41 (R4)	E

基本施策3 健やかで安心できるくらしの実現

K P I	基準値	目標値	実績値	評価
特定健康診査受診率 (%)	31.3 (H30)	60.0 (R6)	35.8 (R4)	E

基本施策4 互いを尊重しあえる社会の構築

K P I	基準値	目標値	実績値	評価
男女共同参画の取り組みに対する市民満足度 (%) ※	91.5 (R1)	92.0 (R6)	89.6 (R4)	B
外国人に対するメール配信サービス登録率 (%)	29.0 (H30)	37.0 (R6)	35.7 (R4)	B

※ 令和5年4月から5月にかけて実施した市民アンケート調査の結果を実績値とする。

基本目標4 広域連携による魅力あるまちづくり

数値目標	基準値	目標値	実績値	評価
西濃圏域の観光消費額（億円）※ ¹	275.1 (H29)	増加 (R6)	158.9 (R4)	E
西美濃地域の製造業従業者数（人）※ ²	48,675 (H29)	増加 (R6)	49,199 (R4)	A

※1 岐阜県観光入込客統計調査の令和4年分の結果がまだ公表されておらず、令和3年分の結果についても、圏域別の観光消費額は公表されていない。

令和3年分の岐阜県全体の観光消費額は公表されているため、令和3年度の実績値は、県全体の観光消費額に、県全体に対する西濃圏域の観光消費額の割合の平均値（H29～R2）を乗じた算出した推計値とし、令和4年度の実績値は、令和3年度の実績値（推計値）を据え置く。

※2 数値目標「製造業従業者数」と同様に、令和4年度の実績値は、令和3年度の実績値（令和3年経済センサス活動調査）を据え置く。

基本施策1 つながり、支えあえる地域づくり

K P I	基準値	目標値	実績値	評価
西美濃地域の観光客数（万人）※ ¹	1,388 (H29)	1,480 (R6)	982 (R4)	D
新規高等学校卒業者（西濃圏域）の地元就職の割合（%）（5カ年の平均）※ ²	66.0 (H26～H30平均)	68.0 (R2～R6平均)	60.9 (H30～R4平均)	B

※1 岐阜県観光入込客統計調査の令和4年分の結果がまだ公表されていないため、各市場から県への岐阜県観光入込客統計調査に係る報告数値を実績値とする。

※2 平成30年度から令和4年度までの平均値を実績値とする。